

議事録
2022 年度 第 1 回 企画委員会

【日時】 2022.07.02 12:00-13:00

【場所】 ホテルニューオータニ東京 前室にて

【出席者（敬称略、五十音順）】

浅野和之、石川剛司、小山田和央、児玉 和仁、杉山大樹、接待創太、高橋雅、武信行紀、中山智広、西戸達郎、橋本直幸、原田慶、米地若菜

【欠席者（敬称略、五十音順）】

賀川由美子、三澤果林

議題 1：第 27 回日本獣医がん学会について

決定事項として以下が確認された

- 日時：2023 年 1 月 28 日（土）-29 日（日）
- 場所：ホテルニューオータニ大阪にて
- オンラインと会場参加のハイブリッドでの開催

① メインテーマ：がん終末期のケアについて

2021 年に実施した学会員のアンケートで希望上位であった“医学との連携（143 票）”、“終末期獣医療（141 票）”、“獣医療コミュニケーション（118 票）”を踏まえた内容であり、異論なし。以下の内容を予定し、今後講師および座長を選定することが承認された。

- （獣医療）獣医療における終末期とは（概論、定義の確認）
- （獣医療）終末期の緩和ケア
- （獣医療）疼痛のケアと安楽死
- （人医療）終末期医療の現状
- （人医療）がん患者とのコミュニケーション
- 総合討論、問題提起

② メインテーマ以外のプログラムについて

以下の内容を予定し、今後各委員長より講師を選定することが承認された。

- 外科シンポジウム
外科療法委員長（浅野先生）へ依頼
- 卒後教育講演
内科 1 コマ 内科療法委員長（高橋先生）へ依頼
外科 1 コマ 外科療法委員長（浅野先生）へ依頼
放射線 1 コマ 放射線療法委員長（中山先生）へ依頼

- 仮説演繹法の第2弾
1日目、外科シンポジウムと平行して開催を検討

③ その他

後日オンライン配信があるため、2日目午後の参加者数が少なくなる可能性がある。2日目の企画を一本化し、全員で一つの会場で参加する方向性が提案された。

会場の設営については以下の点に注意することが報告された。

- 一般口演の部屋が狭く、隣の業者ブースの音声が入ってくるため、今回はレイアウトを変更する
- 会場までの案内板が必要である
- マイクの必要本数など詳細を詰めておく

議題2：第28回日本獣医がん学会（2023年・夏・東京）について

① メインテーマ

膵臓の腫瘍（インスリノーマ、膵臓癌）が提案され、承認された

② シンポジウム

病理のシンポジウム（画像と病理のコラボ）が提案され、承認された

議題3 委員会のオンライン化について

- 学会開催中に各種委員会が開催されるが、今後はなるべくオンライン化するように依頼することが提案され、承認された